

応募要項

2011年3月11日に発生した東日本大震災で、千葉県旭市飯岡地区は最高7.6Mの津波に襲われ、16名の死者・行方不明者を出すなど大きな被害がありました。

旧飯岡町出身の高橋順子氏は、詩集「海へ」で、被災した古里への思いを詠んでいます。このことは、同郷の私たちに、古里を、ともに思い、ともに喜び、ともに歌う機会を与えてくださいました。その感謝の気持ちをどの様に表したらよいか、しばし考えめぐねておりました。改めて詩集「海へ」をひもとくと、「三行詩のゆめ」の五番で「花は 真っ赤になって言葉を吐き出そうとしている」と歌っています。物言わぬ草木でも言葉にしようと、綺麗な花を咲かせている——本当に同感です。

言葉を心の奥にしまっておいては誰からも見えません。人は文字を知っています。文字に書けばいつでも読み返すことができます。ぜひ直筆でお書きください。また、黙読は一人です。音読は、いっしょに楽しめます。文芸賞の創設を提案するにあたり、私たちは応募者に次のお願いをすることにしました。

- 海へあなたの体験や思いを語り継ぐこと
- 原稿は作者が直筆すること
- 自ら作品を朗読すること

文芸賞から人々に生きる勇気と希望を与える言葉が生まれ、地域の絆が深まることを祈り、ここに旭いおか文芸賞「海へ」を創設することを宣言いたします。

2016. 2.27

(旭いおか文芸賞「海へ」創設宣言)

【内容】

○テーマ：海 ※ 題名を必ずつける ※ 題名には「海」「うみ」「ウミ」は使わない

○応募者：個人またはグループの応募も可（グループ応募歓迎） ← 1グループは1作品

○部 門：  小学生以下  中学生  高校生  学生・一般

○ジャンル：(1) 自由詩 (2) エッセイ（随筆・作文） (3) 定型詩（短歌・俳句・川柳）

○規 定：

(1) 自作の未発表の作品

(2) 原稿用紙（400字詰め縦書 B4 用紙）を使用

← 原稿は返却しません

① 自由詩；1～2枚 ② エッセイ；2枚（600～800字） ③ 定型詩；1枚（3～5点）

(3) 応募者が直筆すること（パソコン使用は不可）※ はっきり濃く書くこと

(4) 予備審査通過者（入選候補者）は清書原稿を提出し本審査会で朗読発表（4分以内）← 未提出・朗読欠席の場合は辞退となります

(5) 出品料 1,000 円（郵便小為替 または 現金書留）

← 学校経由の場合は免除

【審査】

〔受付期間〕2020年9月1日（防災の日）～11月5日（世界津波の日）**必着**

11月：予備審査 12月：内定通知&清書依頼 1月：朗読練習指導

〔本審査会〕**2021年2月14日（日）公開&朗読&表彰** 千葉県東総文化会館小ホール

○審査委員会：高橋順子（委員長・詩人）

飯島 純子（千葉県立東部図書館） 伊豆 守彦（元・飯岡小学校長） 小林 晴美（旭市教育委員会）

清谷 千郁（古典文学研究者） 外山 日出男（千葉県郷土史研連協議会） 船倉 武夫（千葉科学大学）

顧問：松井 安俊（児童文学者）

○審査の観点：

☐ テーマの理解 ☐ 文芸作品としての水準 ☐ 朗読発表・パフォーマンス ☐ 協働や工夫

○表 彰：

☆ 大賞：高橋順子賞 ☆ 準大賞：白坂道子賞 ☆ 特別賞：市長賞・教育長賞を含む10賞

☆ 市民賞：本審査会来場者の投票で部門別に決定

○副 賞：

◎ 作品集「海へ」← 入選者へ1冊贈呈、グループ応募も1グループに対して1冊贈呈

◎ 奨励金（大賞）、飯岡土人形（大賞・準大賞）、楯、記念品ほか